

令和 6 年度 宝塚市病院事業会計予算



令和 6 年(2024 年)年 2 月
宝 塚 市 立 病 院

目 次

1	病院の概要	…	1
2	予算編成方針	…	3
3	業務量と財政状況	…	3
4	予算の詳細	…	6
5	主要施策	…	8
6	主な経営数値	…	10

令和6年度宝塚市病院事業会計予算の概要

1 病院の概要

- (1) 設置年月日 昭和59年(1984年)5月21日
- (2) 所 在 宝塚市小浜4丁目5番1号
- (3) 敷地面積 27,061.30㎡
- (4) 病院建物
- ア 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上8階)
- イ 建築面積 9,941.00㎡
- ウ 延床面積 31,902.96㎡
- (5) 病室等許可病床数 436床
- 個室:78室(特別室12室、一般個室66室)
- (6) 病院の理念・基本方針(令和6年(2024年)1月1日改定)
- ア 理念
- 患者さんに寄り添い、地域から信頼される病院になります
- イ 基本方針
- ・ 多職種で協働し、安全で良質な医療提供に全力を注ぎます
 - ・ 地域の関係機関と協力し合える病院であり続けます
 - ・ 互いに尊重し、思いやりの精神を持って行動します
 - ・ 高い倫理観をもち、知識と技術の向上に励みます
 - ・ 公共性と経済性を意識した病院運営に努めます
- (7) 診療科目 31科
- 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、心療内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科
- (8) 組織
- 診療部、がんセンター、看護部、薬剤部、医療技術部、医療安全対策室、感染対策室、患者サポートセンター、臨床研究推進室、経営統括部
- (部門(室)、センター等)
- 中央検査室、中央放射線室、中央手術室、消化器内視鏡センター、集中治療救急室、救急医療センター、血液浄化療法センター、診療情報管理室、栄養管理室、臨床工学室、放射線治療センター、化学療法センター、がん診療支援センター、リハビリテーション室、歯科衛生室、視能訓練室、地域医療室、入退院支援室、医療福祉連携室、患者総合相談室

(9) 高度医療の提供

- ア 救急告示病院
- イ ICU(集中治療室)の設置
- ウ 救急医療センターの設置
- エ 高度医療機器の充実(MRI、CT、放射線治療装置、核医学診断装置、乳房 X 線撮影装置等)
- オ 消化器内視鏡センター、血液浄化療法センター、がんセンター
- カ 集学的がん診療体制(トモセラピーによる高精度放射線治療、20 床の化学療法センター、がん診療支援センターによる相談体制の充実)
- キ 緩和ケア病棟

(10) 指定・認定施設名称一覧

兵庫県指定がん診療連携拠点病院、兵庫県指定地域医療支援病院、兵庫県指定救急告示病院(2次救急)、兵庫県指定災害拠点病院、兵庫県指定肝疾患専門医療機関、兵庫県指定生活保護法指定医療機関、兵庫県指定難病医療制度指定医療機関、兵庫県指定小児慢性特定疾病指定医療機関、兵庫県指定自立支援医療機関(更生・育成・精神通院医療)、厚生労働省指定労災保険指定医療機関、兵庫県指定身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関、兵庫県指定被爆者一般疾病医療機関、厚生労働省指定臨床研修病院、厚生労働省指定歯科医師臨床研修施設、日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.2.0)

2 予算編成方針

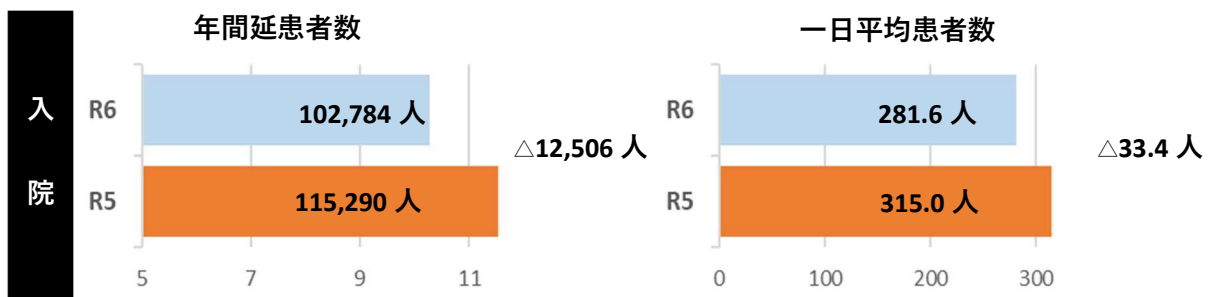
市と市立病院は、本年 3 月に「宝塚市立病院経営強化プラン」(計画期間:令和 6 年度(2024 年度)から令和 9 年度(2027 年度))を策定し、将来に向かい果すべき役割・機能や経営強化策等に加えて、新病院の整備方針を明らかにし、事業及び経営の改善に向けて取り組んでまいります。

初年度となる令和 6 年度(2024 年度)には、現病院の老朽化対策として実施する東病棟外大規模改修工事の施工のため病棟を順次閉鎖することから、診療面では入院患者受入数を制限せざるを得ず、また、収益面でも厳しい状況に陥ることが危惧されています。

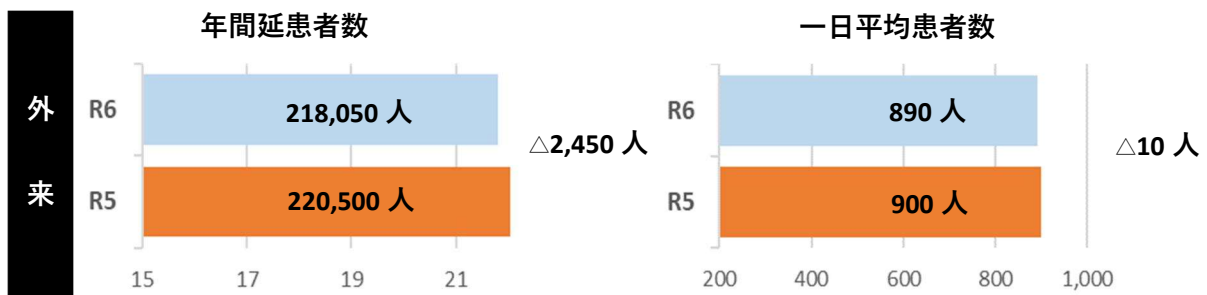
現下の厳しい経営状況の改善に向けて、令和 6 年度病院事業予算は、病床の効率的運用による収益の確保と経費の縮減により編成するとともに、東病棟外大規模改修工事の完了(令和 7 年(2025 年)9 月頃竣工予定)後の診療体制を見据えて取り組んでまいります。

3 業務量と財政状況

(1) 年間延患者数と一日平均患者数(当初予算比較)

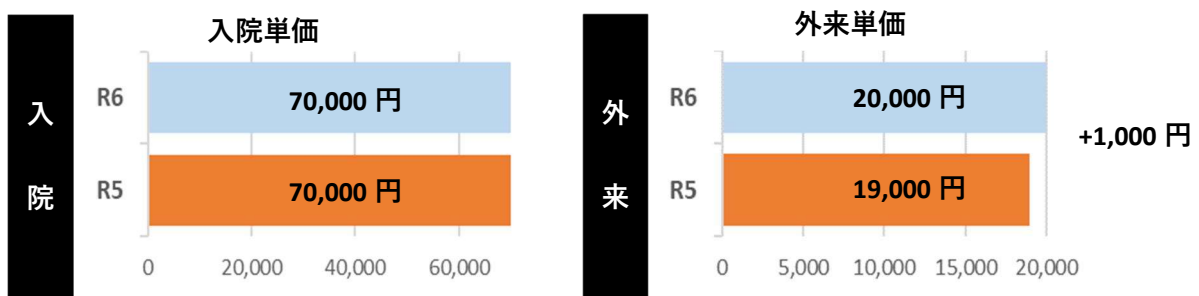


※R5 年度の暦日数は 366 日 (R6 年度は 365 日)



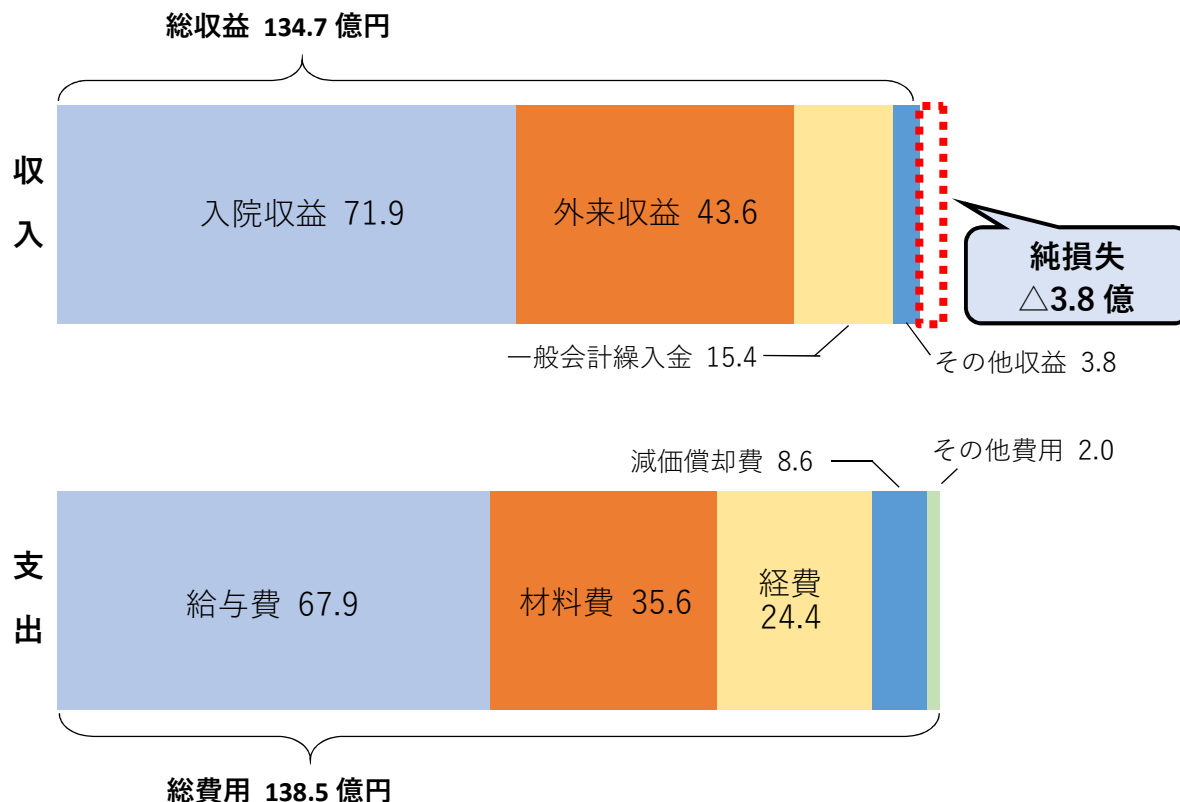
※外来開院日は、R6 年度及び R5 年度ともに 245 日

(2) 一人一日診療収入(当初予算比較)



(3) 財政状況(税込)

ア 収益的収支<経営に伴って生じた全ての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績>



【前年度との比較】

<総収益>
対前年度 **△6.0 億円(△4.3%)**

<総費用>
対前年度 **△2.2 億円(△1.6%)**

<主な内訳>

○入院収益 対前年度 **△8.8 億円**

大規模保全工事に伴う患者数減少

○外来収益 対前年度 **+1.7 億円**

単価アップに伴う収益の増加

○一般会計繰入金 対前年度 **+1.0 億円**

一般会計負担金、補助金の増加

○給与費 対前年度 **△0.8 億円**

看護師数減少による減額

○材料費 対前年度 **+1.0 億円**

高額薬品の増加、物価高騰による増額

○経費 対前年度 **△1.7 億円**

光熱水費の減額

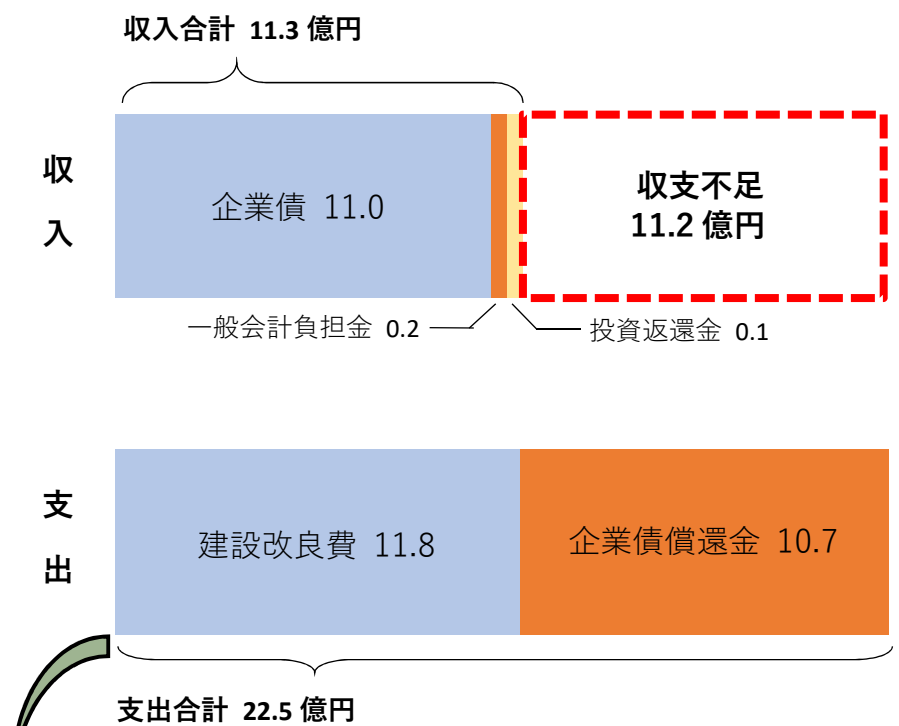
○減価償却費 対前年度 **△0.5 億円**

放射線治療装置の減価償却満了による減額



入院収益の大幅な減少に伴い、収益的収支差(収入-支出)は前年度の収支均衡から今年度3.8億円の純損失へ悪化します。

イ 資本的収支<建物や医療機器などの整備費用とその財源、借入金の返済など>



※資本的収支不足額 11.2 億円は損益勘定留保資金等で補填します。

【主な建設改良費の内訳】

- 施設改修事業 6.3 億円 東病棟外大規模改修工事ほか
- 医療情報システム更新事業 1.5 億円 電子処方箋 (新規)ほか
- 医療機器整備事業 3.3 億円 核医学診断装置(更新)ほか

4 予算の詳細

(1) 収益的収入及び支出 (税込)

(単位 千円)

	区 分	令和 6 年度当初	令和 5 年度当初	増減・比率 (%)	
収 入	医 業 収 益	12,267,300	12,951,128	△ 683,828	94.7
	(入院収益)	(7,194,880)	(8,070,300)	(△ 875,420)	(89.2)
	(外来収益)	(4,361,000)	(4,189,500)	(171,500)	(104.1)
	(他会計負担金)	(514,740)	(492,031)	(22,709)	(104.6)
	(その他)	(196,680)	(199,297)	(△ 2,617)	(98.7)
	医 業 外 収 益	1,204,131	1,122,160	81,971	107.3
	(受取利息)	(1)	(1)	(0)	(100.0)
	(他会計補助金)	(290,921)	(276,103)	(14,818)	(105.4)
	(他会計負担金)	(177,279)	(147,694)	(29,585)	(120.0)
	(国県補助金)	(16,159)	(16,159)	(0)	(100.0)
	(長期前受金戻入)	(56,649)	(50,745)	(5,904)	(111.6)
	(資本費繰入収益)	(555,499)	(527,535)	(27,964)	(105.3)
	(雑収益等)	(1)	(1)	(0)	(100.0)
(その他)	(107,622)	(103,922)	(3,700)	(103.6)	
特 別 利 益	3,001	3,001	0	100.0	
(固定資産売却益)	(1)	(1)	(0)	(100.0)	
(過年度損益修正益)	(3,000)	(3,000)	(0)	(100.0)	
収 益 合 計	13,474,432	14,076,289	△ 601,857	95.7	
支 出	医 業 費 用	13,698,037	13,916,041	△ 218,004	98.4
	(給与費)	(6,791,519)	(6,874,350)	(△ 82,831)	(98.8)
	(材料費)	(3,559,065)	(3,460,445)	(98,620)	(102.8)
	(経費)	(2,435,201)	(2,606,281)	(△ 171,080)	(93.4)
	(減価償却費)	(860,285)	(912,470)	(△ 52,185)	(94.3)
	(その他)	(51,967)	(62,495)	(△ 10,528)	(83.2)
	医 業 外 費 用	132,701	139,293	△ 6,592	95.3
	(支払利息等)	(42,482)	(53,039)	(△ 10,557)	(80.1)
	(長期前払消費税償却額)	(71,243)	(67,278)	(3,965)	(105.9)
	(消費税)	(18,975)	(18,975)	(0)	(100.0)
	(雑支出)	(1)	(1)	(0)	(100.0)
	特 別 損 失	10,001	10,001	0	100.0
	(固定資産売却損)	(1)	(1)	(0)	(100.0)
(過年度損益修正損)	(10,000)	(10,000)	(0)	(100.0)	
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0	
費 用 合 計	13,850,739	14,075,335	△ 224,596	98.4	
収益的収支差	△ 376,307	954	△ 377,261		

(2) 資本的收入及び支出 (税込)

(単位 千円)

	区 分	令和 6 年度当初	令和 5 年度当初	増減・比率 (%)	
				増減	比率 (%)
収 入	企 業 債	1,099,700	725,400	374,300	151.6
	他会計負担金	18,888	37,822	△ 18,934	49.9
	寄 附 金	1	1	0	100.0
	投資返還金	14,257	14,257	0	100.0
	他会計補助金	0	24,353	△ 24,353	皆減
	国県補助金	0	7,215	△ 7,215	皆減
	収 入 合 計	1,132,846	809,048	323,798	140.0
支 出	建設改良費	1,178,782	817,995	360,787	144.1
	（建設改良工事費）	(626,000)	(371,900)	(254,100)	(168.3)
	（固定資産購入費）	(546,685)	(440,104)	(106,581)	(124.2)
	（リース資産購入費）	(6,097)	(5,991)	(106)	(101.8)
	企業債償還金	1,070,491	1,044,395	26,096	102.5
	支 出 合 計	2,249,273	1,862,390	386,883	120.8
資本的収支差		△ 1,116,427	△ 1,053,342	△ 63,085	

※ 資本的収支不足額1,116,427千円は損益勘定留保資金等で補填する。

5 主要施策

(1) 経営強化推進事業 653 千円(病院事業運営審議会委員報酬)

市と市立病院は「宝塚市立病院経営強化プラン」(計画期間:令和 6 年度(2024 年度)から令和 9 年度(2027 年度)までの 4 年間)を本年 3 月に策定します。本プランには将来に向け、市立病院が果たすべき役割・機能をはじめ、医師・看護師等の確保と働き方改革、新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組、施設・設備の最適化、経営の効率化等に係る取組と目標を掲げます。

これらの取組の進捗を把握し、改善していくマネジメント管理を徹底するとともに、宝塚市病院事業運営審議会において外部委員と議論を重ねて経営強化を図ります。また、新病院の整備に向けた検討を進めてまいります。

収益的支出 > 医業費用 > 給与費 > 報酬

(2) 設備等保全事業 626,000 千円

東病棟外大規模改修工事のほか、空調設備や熱源機器の更新等を実施します。東病棟外大規模改修工事では、東病棟給水縦配管の屋外化、病棟(東病棟 5~7 階、西病棟 4 階)の給湯・給水配管の更新、配管更新に伴う衛生器具(トイレ、浴室、手洗場等)の更新等を施工します(竣工時期は令和 7 年(2025 年)上半期の予定)。

資本的支出 > 建設改良費 > 建設改良工事費

(3) 医療機器整備事業 328,700 千円

最新の医療技術に対応した医療機器の導入と老朽化した機器の適時更新により、高度で安心・安全な医療を提供します。

今年度に整備を予定している機器のうち、高度医療機器に関しては核医学診断装置 2 台を更新します。うち 1 台は感度に優れ、心臓と脳の撮影に飛躍的な検査精度を有し、心臓病、認知症等幅広い疾患の検査に対応します。

※ 核医学診断装置は、アイソトープ検査又は RI 検査と呼ばれる画像診断検査に使用され、全身の臓器や骨に発生・転移したがん等を調べます。



※ 上は令和 6 年 2 月時点の現行機

資本的支出 > 建設改良費 > 固定資産購入費 (546,685 千円の内訳)

(4) 電子カルテシステムを中心とした医療情報システムの構築 145,000 千円

電子カルテシステムを中心とした医療情報系システムの安定稼働と効率的な運用を目指すとともに、医療DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、ハードウェア、ソフトウェアの導入・更新、ネットワークの整備等を行います。

今年度は線量管理システム(検査による患者の被ばく線量の記録)、電子処方箋(処方箋の電子化、重複投薬・併用禁忌のチェックが医療機関・薬局間で可能)、グループウェア(メール、掲示板、スケジューラー、ドキュメント管理等)を新規導入するほか、スマートフォン型看護端末、自動精算機等を更新します。

資本的支出 > 建設改良費 > 固定資産購入費 (546,685 千円の内訳)

(5) 人工関節センター開設

医師、看護師、理学療法士が連携して、年間100件を超える人工関節(股、膝)を施術し、ナビゲーション使用手術、低侵襲といった専門性の高い医療を提供しています。

これらの充実した医療を必要とする患者と地域医療機関の医師に広く周知して、更なる集患と多職種からなるチームの活動の活性化に繋げるため、人工関節センターを設置します。

(6) 看護キャリアセンター設置

喫緊の課題である看護師人材の育成と確保を目指し、看護部内に3部門からなる看護キャリアセンターを設置します。

- | | |
|--------------|---|
| ア 「看護リソース部門」 | 専門及び認定看護師が各々の専門知識と経験を生かし、より質の高い看護を目指します。 |
| イ 「看護教育研修部門」 | 継続的な自己研鑽が積める研修システム(キャリア中断からの復帰を含む)を構築します。 |
| ウ 「採用部門」 | 就職説明会、学校訪問、看護師募集ホームページ等を担当して、看護師確保を目指します。 |

6 主な経営数値

(1) 経常収支比率

経常費用(医業費用+医業外費用)に対する経常収益(医業収益+医業外収益)の割合を示す指標です。100%で経常費用と経常収益が均衡し、100%を超えると経常利益が、また100%未満では経常損失が発生しています。

令和4年度の全国平均103.4%に対し、本市は104.5%であり、全国平均を若干上回っています。

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末 (見込)	令和6年度末 (見込)
経常収支比率	96.8%	103.0%	104.5%	97.7%	97.4%
全国平均	102.4%	106.0%	103.4%	-	-

(2) 純利益および未処分利益剰余金

当年度純利益は、その年度の利益を表します。また、未処分利益剰余金は毎年度の利益および損失の累計額です。

(単位：千円)

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末 (見込)	令和6年度末 (見込)
当年度純利益	160,065	366,610	586,971	476,586	△376,307
当年度未処分利益剰余金	366,914	733,525	1,320,496	1,797,082	1,420,775

(3) 年度末の一時借入金及び長期借入金残高

各年度末における一時的な借入金(短期的な借入金)と長期的な借入金の残高は以下のとおりです。

(単位：千円)

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末 (見込)	令和6年度末 (見込)
一時借入金残高	1,100,000	0	0	0	0
長期借入金残高	1,960,000	1,960,000	1,160,000	1,150,000	1,150,000

(4) 企業債借入額、償還額及び残高

企業債とは施設の建設・改修や医療機器の購入に充てるために国等から借りる資金のことです。

(単位：千円)

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末 (見込)	令和6年度末 (見込)
企業債借入額	519,100	700,900	864,500	771,300	1,099,700
企業債償還額	764,251	834,533	1,007,236	1,040,247	1,070,491
企業債残高	6,666,507	6,532,874	6,390,138	6,121,191	6,150,400